

会 議 録		令和3年7月17日作成	令和7年3月末日廃棄
会議名	京都府木津警察署協議会（令和3年度第1回）		
開催日	令和3年7月16日（金曜日）		
時 間	午後3時から午後4時30分までの間（90分）		
場 所	京都府木津警察署 3階講堂		
出席者	奥会長、光橋副会長、小林委員、柴田委員、森本委員、岸田委員、 矢島委員、有馬委員、岩木委員、宮本委員 （欠席 浦本委員） 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、地域課長、留置管理係長 計10人		
諮 問 事 項	木津警察署管内における特殊詐欺の現状と対策について		
会 議 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 署長挨拶 2 委嘱状交付式 3 新会長・副会長選出 4 新会長挨拶 司会 副署長 5 各委員自己紹介 6 警察幹部紹介 7 諮問事項 司会 会長 <p>「木津警察署管内における特殊詐欺の現状と対策について」刑事課長が特殊詐欺の手口や対策について説明を行った。</p> <p>【委員】 お坊さんが特殊詐欺対策に協力できるのではないかと思う。独り暮らしの高齢者宅の檀家さんが沢山おられ、お参り等で決まった日に訪れており、その際に警察の広報チラシを渡して、「気を付けるように」と注意を促すこともできる。知った顔の人から高齢の一人一人に直接呼び掛けていくことが大切なのだと思う。</p> <p>皆さんは、案外ニュースを見ても「特殊詐欺被害が自分には関係ないわ」と我が事とは思わない人が多いことから、そのような点においてもお坊さんはゆっくりと話をする時間があるため、特殊詐欺対策等</p>		

会 議
内 容

に一役買えるのではないかと考えているので協力させていただければと思う。

【委員】 いつも特殊詐欺の講演や地域の高齢者サロン、自治会において、生活安全課の方にお話をしてもらっている。

私は民生委員をしており、来月の8月24日にも生活安全課の方にはお世話になる。

警察からいただいた詐欺被害防止等の啓発グッズを持って、高齢者宅を訪問しているので、今後も講演や啓発グッズの配布等をお願いしたい。

【委員】 お年寄りには、活用できる啓発グッズをもらえると喜ぶので、それらのグッズを持って我々民生委員は高齢者宅等を回っている。特に、電話に貼って使う特殊詐欺被害防止の注意喚起のプレートがよく目立ち個人的にはあれが一番いいなと思っている。先日、私の家にも大阪方面から自宅の固定電話に何度も着信があり、気になったので先日電話を取ると、古物の回収に関する電話であることが分かった。私は、古物の回収が目的ではなく、こちらの情報を探っているのではと感じた。娘が確認したところ、やはり良くない業者で、インターネット上にも、「ダメです。」と書き込みがされていた。最近では親しい人は固定電話ではなく、携帯電話にかけてくれる。古物回収等の電話もあるので、高齢者の皆さんにも注意喚起等してお伝えしていく。

【委員】 広報回覧板で回してもらっている地域の情報で、「最近●●で△△がありましたよ。」と書いてあるのを見て、「特殊詐欺が発生しているらしいで。」と言って、近所の女性同士で話をするので広報回覧板が一番いいなと思っている。

ただ、私たちのように出歩いている人はいいが、家に籠っている人に情報が正しく届くのか疑問に思う。毎月、木津警察署から発行される「ミニ広報紙」は、内容が分かりやすく良いと思う。

【委員】 私は山城町の住人だが、広報の関係で、「木津川市で発生した」という広報の仕方になると、他人事のように思ってしまう。受持ちの山城交番にはなるべく「山城交番管内で」と身近な書き方にさせていただき、地域住民に危機感を持ってもらうことで、注意を促すことに繋がるのではないと思う。なるべく、身近なところで発生していることを分かりやすく広報してもらえればいいのではないと思う。

【委員】 説明にあった特殊詐欺の特徴の中で、被害者の内65歳以上の方が約90%とあり、この数字はよく目にする。私自身も70歳を過ぎており、65歳くらいの方は我が事とは思っていないと思う。特殊詐欺被害に遭うのは90歳以上の高齢者だと思っている方がほとんどだと思う。老人会

会 議
内 容

もやっており、60歳代から80歳代の老人会の方は我が事とは認識していない。特殊詐欺被害は自分たちよりももっと高齢者が被害に遭っていると思っている方がほとんどである。高齢者の中でも年齢に合った広報をしてもらうと良いのではないか。

【委員】自治会の回覧は非常に効果があると思う。一方で、回覧を見る人と見ない人がいる。見る人にとっては非常に効果があり、見ない人は回覧物のたくさんのお知らせと同じようになっている方もいると思う。そういう方に対して広報する際は、今回の諮問事項の様な高齢者を狙った特殊詐欺被害に関することであれば、紙面上での文字数を出来る限り減らし、文字の大きさを出来るだけ大きくするなど、見やすく目を引くような内容にするほうがより効果があると思う。

各交番・駐在所からの毎月の安全ニュース「交番だより」が私の手元に届くのと同じく、自治会でも回覧されている。これについても、見る人は一生懸命に見てくれているが、交番だよりはA4紙面に沢山の情報が書かれているので、手元に届いたときに「もうええわ。次のページに進もう。」とってしまう。本当に大事だと思われる内容については、分かりやすい内容にして、かつ、同じような内容のものを連続して流すというのがあっても良いのではないか。

もう一つは、高齢者が狙われている特殊詐欺被害対策として、自治会の広報により皆さんに読んでもらうことは非常良いことだが、見ない人もいるため、これらに対する対策として警察からの広報チラシを自治会で配るだけで良いのかとも思う。例えば、私が所属しているような木津防犯推進協議会や各地域の支部・老人会からも同じような内容のチラシを配布して、何度も繰り返し伝えるということが良いと思う。また、先ほどのお話にあったように、お寺のお坊さんや民生委員さんから話をしてもらうのは非常に効果があると思う。行政だけではなく、地域の中で色々な業種が協力して広報することが必要ではないかと思う。

最後に、特殊詐欺グループには、詐欺を仕掛ける相手のリストがあると聞いた。リストがあれば、そういう家は確実に狙われることから、リストに載っている人に対して警察が個別に訪問して、注意喚起を促していただきたい。個人情報の観点から難しいかもしれないが、リストに載っている人に対しての働きかけを行う等、啓発活動をされてはどうか。

【警察】皆さま、貴重な意見をありがとうございます。

全般的に伺っていると、高齢の方はどうしても他人事としてとらえておられる方が多く、自分事として感じていただくこと、インパクト

会 議
内 容

のある、伝わる広報を行うことに対するご意見として受けさせていただいた。

当時、生活安全企画課在籍中に京都市内の民生委員の方々に動いていただく際のハードルが非常に高く、色々と苦勞したが、民生委員の方に訪問していただくと、先ほどのご意見にもあったように「広報が届かない人」「老人会等に出てこられない方」のところにも民生委員の方が訪問されるので、広報したい内容が伝わったということがあり、その動きが京都市内だけでなく京都府下においても広まったことがあった。このようなことが木津川市内でどこまで広がっているか把握ができていないが、貴重なご意見をいただいたので、対応していきたい。

委員の皆様も「自分事」になかなかならないとのことだが、振り込め詐欺になんて騙されるのだろうかと思われたい話を聞いていて思われた方や、私は大丈夫と思いながら話を聞いておられた方もおられると思う。

振り込め詐欺の犯人が実際に騙すときの音源を皆さんに聞いていただけるか分からないが、犯人からまくしたてられる様な声で話されるため、実際の音源を聞いていただくと騙される気持ちが分かると思う。非常に巧みに、畳みかけるように話をするので、電話に出してしまうと相手のペースになってしまう。対策としては固定電話に出ないことが一番である。私にも年老いた母親が京都市内で一人暮らしをしているので、自宅の電話は常に留守番電話にしておくように話をしている。留守番電話に録音された声を聞けば、誰からの電話か分かるからである。

また、家族とのやり取りは全て携帯電話でしている。先ほどの刑事課長の話のとおり、固定電話にかかってくる詐欺電話が全体の8割を占めるので、固定電話に出なければ「防げる」と言える。第二回、第三回の警察署協議会で実際にあった詐欺の電話音声を聞いていただければ皆さんの理解も深まると考えている。

広報紙の話になるが、私がこちらに着任して初めに指示したことが、ミニ広報紙についてである。各交番が「良いものを」と競い合うように作っていたが、作るのが得意な者もいれば苦手な者もいるので、各交番が競い合うのではなく、読まれる方全ての立場に立って、作るのが得意な者がベースを作成し、それを基に各交番がそれぞれの受持管内で発生している犯罪や事故など必要な情報を入れて、どのミニ広報紙も誰も見やすいものになるように地域課長から各作成者に指導している。ご指摘いただいた部分についても少しずつご期待に添えんと考えている。

会 議
内 容

この場における委員の方の意見から「やっていることは間違っていないな」「この部分をもっと改善しなくてはいけないな」というように感じた。今日は特殊詐欺についてお話させていただいたが、防犯教室の開催等を通じて、皆様からご意見やご指摘を受けることにより、我々が気づくことも多々あるので、今後も色々なご意見をいただければと思っている。

本日いただいたご意見の全てが警察業務に反映されるかは分からないが、各課長が直接お話を聞かせていただいているので、自分たちに何ができるだろうと考えて今後も対応していきたい。

【委員】以前、民生委員の定例会で広報紙の原本をいただくと、カラー印刷で、とてもインパクトがあったが、白黒印刷になると途端に読みづらくなった。自治会単位の掲示板等に貼る広報紙をカラー印刷にしていると、見やすくなり皆が見るのではないかと思う。

【委員】外に出ない高齢者の方でも介護保険サービスを受けていると、ケアマネージャーが月1回は利用者の自宅を訪問し、気になる利用者宅には月に何度も訪問して話を聞く。

特殊詐欺事件等が起きた際に、各市町村の介護保険課等が「ケアマネージャーさんから各利用者宅にお知らせください」等情報発信されれば、伝わるのではないか。

最近、私の知人に起きた話であるが、「古切手や記念硬貨等がご自宅にありますか」とフリーダイヤルの電話番号からかかってきたそうだ。知人が「自宅に沢山あるが、私では分からないので妻に確認してほしい。」と妻の携帯番号を相手に教えたことから、業者は知人の奥様に「ご主人から自宅に金貨が沢山あると聞いたのですが、自宅にそういったものはありますか。」と電話があり「ない。」と断ったそうだが、業者から「それなら、バッグ一つでも、靴一つでも何でもいいので売ってほしい。今品物が足りていないので取りに行きます。」と言われたと聞いた。これは詐欺の一つなのか。

【警察】最近、当署管内でも同じような相談が大変増えている。目的は、先ほどのお話にもあったように、高価なものを安く買い取ることと、もう一つの目的は、お金のある家を探して強盗に入るということを考えている業者もいる。

基本的には、押し買い業者は正当な値段では買取をしないので、相手にしないことが大切である。通常、大手の業者は正しく査定をして正当な値段で買い取るが、そもそも、大手の業者がわざわざ電話をかけて買取をする必要がないので、電話をかけてくる業者というのは押し買いをする業者の可能性が非常に高い。

会 議
内 容

ただ、京都府下一円においても非常に増えている。周りの方にも、相手にしないように言っていただきたいと思う。

居直ってなかなか帰らない、断るととても乱暴な言葉を浴びせられた等の相談も受けているので、地域住民の方にも、注意するように声を掛けていただきたい。

【委員】先ほど、広報紙はカラーの方が良いのではないかと話がでたが、カラー印刷の方が見やすいのは確かだが、予算の関係で全てをカラー印刷にするのは難しいと思う。

私の話が警察業務に当てはまるかは別として、防犯推進協議会精華台支部も、毎月、「精華台防犯ニュース」発行している。

以前はカラー印刷で作った後、精華台の各自治会の会長宛に発信し、コピーしたものを各班長に配布の上、各世帯が回覧するという方法を取っていた。どうしても各世帯が回覧する際には白黒印刷になってしまうので、何とか改善できないかと考えたが、当時はコンビニのコピー機で印刷したりしており、白黒印刷なら1枚5円、カラー印刷になると1枚20円以上かかり、予算上は出来なかった。その後、インターネットで両面カラー印刷をしても、1枚8円程度でできることが分かり、最近では精華台の中で200部ほど配布しているものを、全てカラー両面印刷をしている。最近ではこのようなこともできるようになってきているので、参考にしていきたい。

【警察】警察の会計というのは使い方ややり方に色々ルールがあるのも事実であり、インターネットで注文できるかという点も難しい面もある。

白黒で印刷をすると見えにくいというのは当然だが、当署としては白黒でも見やすいものを作成している。カラー印刷というのも考えており、いただいた情報を含めて検討していく。

【委員】木津警察署の階段に貼られていたカラー印刷のミニ広報紙は、とてもきれいで見やすかった。

【委員】毎月、ミニ広報紙を発行していただき、各交番ごとのものを見せていただくが、その時分に流行っている犯罪や特殊詐欺については新しい手口が出てきているので、ミニ広報紙のような情報源が大切になってくるのだと感じている。回覧板でただ回覧するだけではなく、色々な年齢層や家から出ない方への支援も必要と感じる。私の妻も地域の高齢者に対して見守り活動をしているが、独居老人で自宅から出ない人の様子を見てみると、そういう方は外との関わりを持っておられないようで、携帯電話は持っておられるが、度々、自宅の固定電話に不審な電話がかかってくるという話も聞く。ただ、身近に相談する人がいないという方もおられるので、そのような方への支援も大切だと感

会議 内容	じた。 8 事務連絡 令和3年度第2回木津警察署協議会は、9月中旬から下旬ころとし、コ ロナ禍でもあることから、情勢等を考慮して実施予定である。 以 上
----------	--

第1回京都府木津警察署協議会の開催状況

